



あざや
「燦かな音のプリズム」
プログラム

- J. S. バッハ：
 ソナタ 変ホ長調 BWV1031
 第1楽章
 ビゼー：
 アルルの女より 間奏曲
 ヴィラ=ロボス：
 ファンタジア 第1楽章
 ～ピアノ解体ショー～
 ペリー&キングスレイ：
 バロック・ホーダウン (ピアノソロ)
 モリネリ：
 ニューヨークの4つの絵より
 第4楽章
 ～アンコール～
 ガーシュウィン：
 スラップ・ザット・パス



・田中靖人さんのサックスの音は、心があらわれて空を気持ちよくとんでいような気分でした。白石光隆さんのピアノは広い野原で気持ちよくねているようなかんじがして、休まなくてよかったなあと感じました。



- ・二人ともすごく上手でした。とくに一番さいごの曲は、とっても大きな音が出て、一番後ろにすわっていた私のいすもふるえました。そのぐらい大きな音を、私もだしてみたいと思いました。
- ・がっきのことをたくさん教えてくれてうれしかったです。1曲聞いただけですぐに楽しくなっていました。4時間目がとても早くかんじました。えんそうを聞けて、今日、学校を休まなくてよかったなと思いました。
- ・ピアノとサックスがいっしょにあわさって、とってもきれいな音がきけて、こんなきれいな音をきけることがないので、よかったです。
- ・ピアノはいろんな木できているのと、作るのにじかんがとてめかかるのを知りました。サックスの音は聞いたことがなかったので、とてもきれいな音だなと思いました。
- ・バロックホーダウンの曲がすごくリズムがはやくておどりがたくって楽しかったです。とくに「ファンタジア」がいちばんかっこよかったです。「アルルの女」の曲がどきどきするかんじでひいていて、さいごはずいぶん止まってかっこよかったです。

学校アウトリーチとは

武豊町と協働でゆめたろうプラザを運営しているNPOたけとよは、2005年度から舞台芸術のアウトリーチ活動(以下アウトリーチ)を武豊町教育委員会と共に行ってまいりました。

この取り組みは、芸術を表現する側と観る側の垣根を越えて、アーティストと参加者間で互いに積極的な交流ができるプログラムを目指すもので、小さい会場(音楽室など)・少人数(クラス単位)で、プロの演奏や表現を鑑賞したり、一緒に参加してもらったりします。私たちは武豊町のすべての子どもたちに、目の前で優れたプロアーティストの芸術を体験する機会を作りたく、2010年度からは毎年町内の全小学校の4年生を対象にアウトリーチを行っています。コロナ禍が一進一退している状況ではありますが、感染対策をしっかりと、学校の先生方の協力のもとに、今年度もすべての4年生(全13クラス)にアウトリーチを体験してもらうことができました。

